

軌道事故対応訓練により万が一に備える



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には、富山県と立山カルデラ砂防博物館が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」など工事関係者以外の方々年間約2千人乗車しています。

例年7月から始まる「体験学習会」の前にトロッコ乗車中の事故発生時における迅速な対応を図るために事故対応訓練を毎年実施しています。今回は、負傷者の応急手当と搬送、負傷者以外の避難行動の手順と確認、現地と対策本部や関係機関との情報伝達手順など各自の役割を確認しました。

訓練では、負傷者をタンカーや手押しのレスキューカートによる搬送し救急車に引き渡すまでを関係機関及び軌道関係受注者等約40名の参加で実施し、訓練後の反省会では改善点などの意見を出し合い、万が一に備える体制づくりを確認しました。

救助訓練・情報伝達訓練の様子

日時：平成29年6月29日(木) 10:00~12:00

訓練場所：訓練軌道 0.8kp付近

(千寿ヶ原緑地公園駐車場付近)

参加機関：立山砂防事務所 富山県砂防課
(公財)立山カルデラ砂防博物館 富山県上市警察署
立山町消防本部 軌道運行受注者



点呼による参加者確認や避難行動確認



負傷者のトロッコからの搬出



レスキューカートによる搬送



救急車への引き渡し



事故対策本部での情報伝達・整理



訓練後の反省会